

①市町の事業

一関市	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は特になし。 ・平成28年度 一関市博物館事業として館長講座「葛西氏と千葉氏について」の実施
涌谷町	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度 涌谷町文化財資料集『巨理家の家譜・系図』の発刊 ・平成29年度 涌谷の文化財Ⅶ『涌谷伊達家墓所編』の発刊 ・平成30年度 涌谷の城下町景観復元のための現状把握調査事業
南相馬市	<ul style="list-style-type: none"> ・市立博物館において、以下の常設展示。 鎌倉時代から江戸時代まで、当地方を統治した相馬氏にかかる資料を中心に、中世の信仰、江戸時代の原ノ町宿の様子など、当時の政治や暮らしを紹介。 また、勇壮な相馬野馬追の神旗(しんき)争奪戦ジオラマをはじめ、屏風などの絵画・甲冑武具・祭具から、国指定重要無形民俗文化財「相馬野馬追」の歴史と変遷を紹介。
佐倉市	<ul style="list-style-type: none"> ・国史跡本佐倉城跡の保存整備事業をおこなっている。平成30年度は、本佐倉城跡が国史跡指定20周年を迎えるため、酒々井町と協力し記念イベントの開催を予定している。 ・国史跡元佐倉城跡について興味のない方にも関心を持ってもらうために、5月5日前後の期間に、京成電鉄車窓から見えるところに、こいのぼりを掲げている。
酒々井町	<ul style="list-style-type: none"> ・戦国時代の千葉氏の居城・本佐倉城跡の保存整備事業 平成10年の国史跡指定以降、公有地化や発掘調査・環境整備を中心とした整備事業を行い、現在は指定地外に駐車場やトイレ・ガイド詰所等の便益施設を整備する入口広場整備事業を継続実施している。 また本佐倉城跡は昨年4月には「続日本100名城」に認定され、今年4月からのスタンプラリーの開始により見学者が急増している。 ・酒々井・千葉氏まつりの開催 約500年前、本佐倉城に城下町が誕生したことを祝って始まり、明治時代まで続いていた酒々井町の最大行事であった伝説のまつりを、平成28年度に「酒々井・千葉氏まつり」として復活。当時の祭りの内容にならい、競馬(きそいうま)、ばか乗り(仮装行列)を中心とし、多くの来客がある。
多古町	<ul style="list-style-type: none"> ・多古町歴史講座 平成29年度から、多古町コミュニティプラザ文化ホールを会場に、「多古町歴史講座」(全5回)を開催している。第1回千葉氏サミットを契機に開始したもので、シリーズタイトルを「千田荘と千葉氏を探る」として、毎回千葉氏に関する事柄をテーマに、その分野の一流の研究者を講師陣に迎えている。 初年度は、毎回150人前後の聴衆を集め盛況に実施した。 平成30年度も同様に千葉氏をテーマに、全5回の講座を実施する予定である。
東庄町	<ul style="list-style-type: none"> ・東庄町歴史教室 町公民館主催講座として歴史教室を実施している。この中で東庄町郷土史研究会会員が講師となり、東氏に関する内容について講義を行っている。

郡上市	<p>・「古今伝授の里フィールドミュージアム」における展示や様々な企画 千葉氏一族の東氏は代々歌道に優れていたことに関連して、郡上市大和町には和歌をテーマにした野外博物館の「古今伝授の里フィールドミュージアム」がある。この博物館施設を拠点に、歌合せ会、連歌会、市民作品展、コンサート、撮影会、市民講座、企画展などの各種イベントを通年で開催している。</p> <p>なお、大きなイベントとしては毎年「古今伝授の里短歌大会」を開催しています。この大会は短歌の普及を目的としており、今後もその魅力を発信するために、市内のホール施設を会場に開催している。</p>
小城市	<p>・佐賀大学と共催で千葉氏に関する展示会を小城市立歴史資料館で平成30年11月、12月に開催する。</p> <p>・小城市立歴史資料館常設展示室において「小京都小城と千葉氏」と題して肥前千葉氏を紹介している。</p> <p>・肥前千葉氏に関する史跡を地元小学校や市民団体の要望に応じて案内している。</p>
千葉市	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉氏に関するシンポジウム・公開講座の開催 ・千葉市の魅力を紹介する絵本の配付(小学校、保育所、幼稚園等) ・小中学校における副読本(マンガ「千葉常胤公ものがたり」など)の活用 ・学校給食「千葉氏ゆかりの都市の郷土料理」の実施 ・千葉氏に関する史料整理 ・市立郷土博物館における常設展示・企画展示 ・鎌倉時代の大鎧を活用した体験学習の実施 ・「醬(ひしお)」を使った料理を「千葉氏グルメ」として食べ歩きイベントと連携

②団体等が主催する事業

<p>一関市</p>	<p>・唐梅館絵巻 (主催者) 唐梅館絵巻実行委員会 (事業開始年度) 平成13年 (事業内容) 天正18年(1590年)、周辺の各諸将が集結し、小田原参陣に従うか否かを決する軍議が開かれ、その様子を再現し、戦国乱世の心意気を伝える「唐梅館絵巻」を開催している。 総大将役の千葉広胤公には、これからの活躍が期待される若手俳優等が務め、参上行列、軍議再現が行われるほか、鉄砲隊や餅まきなど多様な催しで観客を楽しませている。 また、前夜祭として地元商店街を中心に「Oh!天気まつり」を開催し、地域一体となって盛り上げている。</p>
<p>涌谷町</p>	<p>・古式獅子舞の演舞(妙見宮への奉納) ・涌谷藩志会による歴史の掘り起し活動</p>
<p>相馬市・南相馬市</p>	<p>・相馬野馬追 (主催者) 相馬野馬追執行委員会(執行委員長:南相馬市長) ※構成員=以下の団体等の代表者ほか 妙見三社:相馬中村神社(所在地:相馬市)、 相馬太田神社(所在地:南相馬市原町区)、 相馬小高神社(所在地:南相馬市小高区) 五郷騎馬会:宇田(うだ)郷、北郷、中ノ郷、小高郷、標(しね)葉(は)郷 江戸時代に相馬氏が治めた旧中村藩領内市町村: 南相馬市長、相馬市長、新地町長、飯館村長、 浪江町長、大熊町長、双葉町長ほか</p> <p>(事業) ・相馬野馬追(国指定重要無形民俗文化財) 相馬家の祖「平(たいらの)小次郎(こじろう)将門(まさかど)」が一千有余年の昔、下総国葛飾郡小金ヶ原(現在の千葉県北西部)に野生の馬を放牧し、関八州(北関東八ヶ国)の兵を集め、野馬を敵兵に見立て野馬を追い捕らえる軍事訓練として、また、捕らえた馬を神前に奉じ妙見の祭礼としたのに始まったと言われている。 毎年7月最終週の土日曜日の3日間、相馬市と南相馬市において開催。 1日目、「出陣」。相馬中村神社、相馬太田神社、相馬小高神社から騎馬武者が出陣。 2日目、「お行列」。南相馬市原町区市街地を約3km、500余騎の騎馬武者が雲雀ヶ原祭場地の御本陣へ進軍。雲雀ヶ原祭場地において、「甲冑競馬」、花火で打ち上げた御神旗を騎馬武者が奪い合う「神旗(しんき)争奪戦」を繰り広げる。 3日目、相馬小高神社で「野馬懸(のまがけ)」。騎馬武者数十騎が裸馬を境内に設けた竹矢来(たけやらい)に追い込み、白鉢巻に白装束を付けた御小人(おこびと)が素手で捕らえ、神前に奉納する。</p> <p>・相馬野馬追公演 国内、国外において、甲冑騎馬武者行列、甲冑競馬、神旗争奪戦等を披露し、相馬野馬追のPRを行っている。 国外公演の実績は、 1991年12月18日 ロンドン「ジャパンフェスティバル」参加。 1993年6月5日 モスクワ「ハローロシア」参加。 1994年6月17~19日 ハワイ「まつり・イン・ハワイ」参加。 2000年8月13日 ブラジル「ブラジル発見500年」慶祝事業参加。 2002年、2003年、2004年 ロサンゼルス「サンタアニータ競馬場 東京シティカップレース」記念行事参加。</p>

佐倉市	・市内のNPO団体が本佐倉城跡を主とした現地説明会を実施している。
酒々井町	・「酒々井ふるさとガイドの会」による本佐倉城跡を中心とした関連寺社・史跡・旧跡等を案内するボランティアガイド ・昭和52年から活動する「酒々井町郷土研究会」による千葉氏・本佐倉城跡を中心とした歴史の調査・研究
郡上市	・明建神社の七日祭(なぬかびまつり) 大和町牧の明建神社で奉納される例祭。明建神社は東氏が下総国から奉祀したと伝える古社で、毎年8月7日に「七日祭」が奉納されている。東氏武士団にゆかりの地元の奉仕者が中心になり、神輿の渡御や、舞が奉納されている。 ・薪能くるす桜 「薪能くるす桜実行委員会」の主催で毎年、明建神社の8月7日の例祭日の晩に薪能が奉納される。これまでに29回の開催があった。
小城市	・旅行会社で小城市内にある千葉氏関連の史跡や寺社などを回るツアーを企画・検討中。
千葉市	・シンポジウム・公開講座の開催 ・ガイドツアーの実施 ・「醬(ひしお)」を使った料理を「千葉氏グルメ」として食べ歩きイベント